

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【公表番号】特表 2011-524417 (P2011-524417A)

【公表日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-035

【出願番号】特願 2011-514633 (P2011-514633)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 3 日 (2012.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) キャリアタンパク質と、G l o b o H もしくはその免疫原性フラグメント、胚発生段階特異抗原 - 3 (S S E A - 3)、または胚発生段階特異抗原 - 4 (S S E A - 4) から本質的に構成され、リンカーを通じて前記キャリアタンパク質と共役する糖鎖と、を含む糖鎖共役体；および

(b) 樹状細胞上の C D 1 d 分子と結合できる糖脂質を含むアジュバント、を含む、免疫原性組成物であって、I g M アイソタイプ抗体と比較して、I g G アイソタイプ抗体を相対的に高いレベルで産生する免疫応答を誘導する、免疫原性組成物。

【請求項 2】

前記キャリアタンパク質が、ジフテリア毒素交差反応物質 197 (D T - C R M 197)、破傷風ウイルス (B V)、破傷風トキソイド (T T)、またはウシ血清アルブミン (B S A) である、請求項 1 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 3】

前記キャリアタンパク質が、D T - C R M 197 である、請求項 2 に記載の免疫原性組成物。

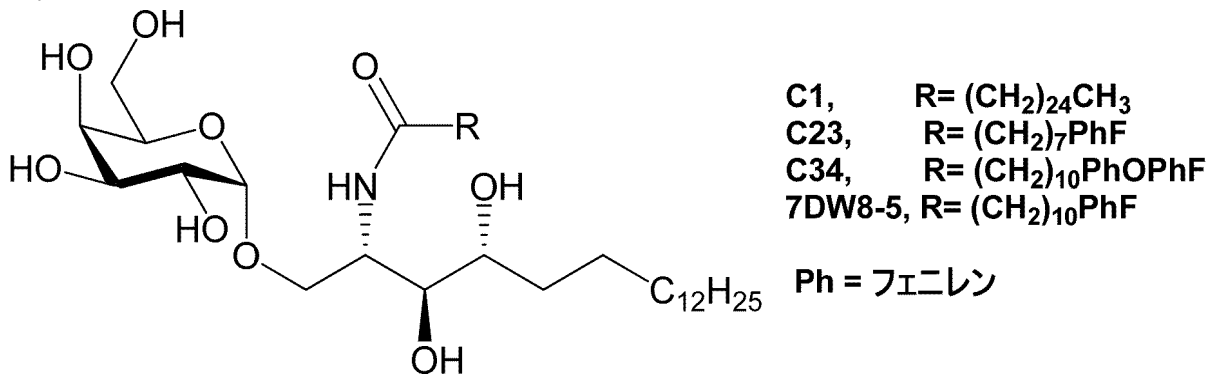
【請求項 4】

前記アジュバントが、- ガラクトシルセラミド (- G a l C e r) のアナログである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

【請求項 5】

前記 - G a l C e r のアナログが、下記構造式：

【化 1】

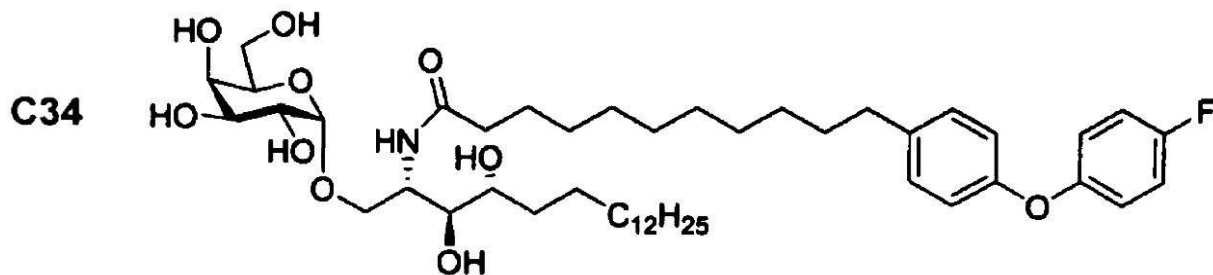


で表される C 1、C 2 3、C 3 4、または 7 D W 8 - 5 である、請求項 4 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 6】

前記 - Gal Cer のアナログが、下記構造式：

【化 2】



で表される C 3 4 である、請求項 5 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 7】

前記リンカーが、p - ニトロフェニルリンカーである、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

【請求項 8】

少なくとも 1 つのアジュバントが、液性および細胞性免疫応答を誘導できる、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

【請求項 9】

前記免疫応答によって産生した抗体が、がん細胞またはがん幹細胞で発現する抗原を中和する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物。

【請求項 10】

前記抗原が、G l o b o H 抗原、S S E A - 3、および S S E A - 4 の少なくとも 1 つである、請求項 9 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 11】

前記 G l o b o H 抗原、前記 S S E A - 3、および前記 S S E A - 4 の少なくとも 1 つが、乳癌幹細胞で発現する、請求項 10 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 12】

前記 G l o b o H 抗原が、乳房、消化管、膵臓、前立腺、または子宮頸部の上皮細胞で発現する、請求項 10 に記載の免疫原性組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物を含む、腫瘍成長抑制剤。

【請求項 14】

(a) 請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の免疫原性組成物；および

(b) 薬学的に許容される賦形剤；

を含む、がんワクチン。

【請求項 15】

前記がんワクチンが、乳癌、肺癌、肝癌、口腔癌、胃癌、大腸癌、上咽頭癌、皮膚癌、腎癌、脳腫瘍、前立腺癌、卵巣癌、子宮頸癌、結腸直腸癌、および膀胱癌からなる群から選択されるがんの治療に適する、請求項 1 4 に記載の がんワクチン。

【請求項 1 6】

前記がんが、細胞表面に G l o b o H 抗原、S S E A - 3、S S E A - 4、または B b 4 を発現する細胞から構成される、請求項 1 5 に記載の がんワクチン。

【請求項 1 7】

前記細胞が、乳房の腫瘍上皮細胞である、請求項 1 6 に記載の がんワクチン。

【請求項 1 8】

前記がんワクチンが、腫瘍サイズの縮小、抗がん免疫応答の誘導をするために投与される、請求項 1 4 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載の がんワクチン。

【請求項 1 9】

リンカーを通じて D T - C R M 1 9 7 と共役する G l o b o H、および樹状細胞上の C D 1 d 分子と結合できる糖脂質を含むアジュバントを含む、乳癌幹細胞に対する治療剤。

【請求項 2 0】

前記アジュバントが C 3 4 である、請求項 1 9 に記載の 治療剤。

【請求項 2 1】

被験者への前記治療剤の投与が、乳癌幹細胞で発現する抗原を認識する抗体の産生を誘導する、請求項 1 9 または 2 0 に記載の 治療剤。

【請求項 2 2】

リンカーを通じて D T - C R M 1 9 7 と共役する S S E A - 3、および樹状細胞上の C D 1 d 分子と結合できる糖脂質 C 3 4 を含むアジュバントを含む、乳癌幹細胞に対する治療剤。

【請求項 2 3】

被験者への前記治療剤の投与が、乳癌幹細胞で発現する抗原を認識する抗体の産生を誘導する、請求項 2 2 に記載の 治療剤。

【請求項 2 4】

リンカーを通じて D T - C R M 1 9 7 と共役する S S E A - 4 を含む、乳癌幹細胞に対する治療剤。

【請求項 2 5】

樹状細胞上の C D 1 d 分子と結合できる糖脂質 C 3 4 を含むアジュバントをさらに含む、請求項 2 4 に記載の 治療剤。

【請求項 2 6】

前記アジュバントが C 3 4 である、請求項 2 5 に記載の 治療剤。

【請求項 2 7】

被験者への前記治療剤の投与が、乳癌幹細胞で発現する S S E A - 4 またはその切断構造を認識する抗体の産生を誘導する、請求項 2 4 ~ 2 6 のいずれか 1 項に記載の 治療剤。